

七時半になつたのでそろそろ食べようと炊	く台所へ行く足取りはゆつくりだつた。	く食べようと、いう気持ちになれず、なんと	に。お腹は空いて、いるはずなのに、なぜか早	音だけが響いていて、さびしい気持ちになつ	と静まりかえつたり、シンクに、時計の秒針の	けれど、その日は、違ひ家には私だけ。しん	の夜ご飯だ。	題を変える。そんな、にぎやかな時間が我が家	かが話し始め、また別の誰かが笑いながら話	日にあつた出来事や、面白かつた出来事を誰	いっものなら、みんな、で食卓を囲んで、その	兄は、部活動で帰りが遅くなる日だつた。	バイトで遅くなると言つていて、三つ歳上の	その日は、両親が仕事、五つ歳の離れた姉は	と、大きな声で私たち兄弟を呼んでいる頃、	「ごはんだよー!!」	夏休みのある日の夜七時。いつもなら母が	吳中央中学校二年 高橋 麻衣	食事でコミュニケーション
---------------------	--------------------	----------------------	-----------------------	----------------------	-----------------------	----------------------	--------	-----------------------	----------------------	----------------------	-----------------------	---------------------	----------------------	----------------------	----------------------	------------	---------------------	----------------	--------------

飯器のふたを開けると、ふわっと白い湯気と
 一緒に、お米の甘い香りが立ち上る。その香りに
 包まれると、少しだけ気持ちよくなる。冷蔵庫から母が作っ
 ておいてくれたおかずと、汁を取り出し、電子レンジに入
 れる。温め終わって音が、静かな部屋にやけに大きく
 響いた。
 食卓に、ごはんとおかずを並べてみると、なんだか物足
 りなく感じ、テレビをつけて見た。画面から流れる人の声は、
 自分とは関係のない遠い世界の話のようだった。ごはんを
 一口食べる。いつもならおいしーと誰かが言い、私も笑っ
 てうなずくの、その夜は返事をしてくる人はいなかった。
 家庭科の授業で、"個食"という言葉を習った。一人で、ま
 たは家族や友人と別々に食事をすることを指すらしい。仕事
 や部活、塾などで時間が合わず、現代では珍しくない食事
 の形だという。先生は、
 個食が続くと、会話や食事から得られるぬ

れ	り	け		た	み	で	れ	が	を		満	の	ど	お		し	た	と	く
た	と	味	一	の	ん	食	て	握	作	そ	た	時	こ	か	ご	分	だ	話	も
。	温	気	人	だ	な	べ	い	。	。	う	す	間	か	ず	は	か	け	し	リ
食	か	な	で	ろ	で	る	た	て	て	い	時	は	が	の	人	。	た	て	バ
べ	さ	か	食	う	食	よ	。	く	公	え	間	。	少	味	は	た	い	減	
終	は	。	べ	。	べ	り	青	れ	園	は	で	。	し	も	い	。	。	。	。
わ	。	た	る		に	も	空	。	に	。	も	。	冷	変	。	。	た	。	。
。	確	。	白		か	ず	の	私	行	小	め	。	え	わ	。	。	け	。	。
て	か	け	い		ら	。	下	た	。	さ	る	。	て	ら	。	。	れ	。	。
食	に	れ	ご		こ	と	で	ら	。	い	の	。	い	な	。	。	ど	。	。
器	私	。	は		そ	お	食	の	炊	頃	だ	。	る	い	。	。	。	。	。
を	の	お	ん		味	い	べ	好	き	は	じ	。	よ	。	。	。	。	。	。
片	心	米	は		わ	し	る	き	た	。	ゃ	。	う	。	。	。	。	。	。
が	を	の	。		え	か	お	な	て	家	。	。	に	。	。	。	。	。	。
け	な	や	正		た	。	に	具	の	族	い	。	感	。	。	。	。	。	。
な	ぐ	さ	直		お	た	お	を	。	で	た	。	じ	。	。	。	。	。	。
が	さ	し	。		い	。	り	入	。	お	。	。	た	。	。	。	。	。	。
ら	め	い	少		し	あ	は	れ	。	に	。	。	。	。	。	。	。	。	。
。	て	香	し		さ	れ	。	て	母	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。
明	く		だ		た	も	家	く		。	。	。	。	。	。	。	。	。	。

日はきつとみんなそろってごはんが食べられ
るだろうと考えたらしい。少し元気が出た。
お米はただの主食ではなく、私にとっ
て家
族の時間をつなぐ存在でもある。これからも、
この温さを忘れずに、みんなで囲む食卓を大
事にしていきたいと思う。